



「NCの今後に期待すること」

平成24年9月27日

日本医療機器産業連合会会長 荻野和郎



1. 我国の医療機器市場、2兆3千億円の内、およそ1/2は輸入品。安定供給や医療経済の面で問題。
2. 輸出入の差は、6000億円の赤字。
3. 特に治療機器の国際競争力が弱い。
4. 医療・介護・健康分野は大変大きな産業であり、我国の総就労人口のおよそ10%はこの分野にある。
5. 医療・介護・健康分野の発展が国民の健康を守り、QOLを高めるため、又、引いては日本の経済発展のためにも極めて重要。



平成22年6月18日閣議決定 新成長戦略から抜粋

【2020年までの目標】

『医療・介護・健康関連サービスの需要に見合った産業育成と雇用の創出、新規市場約50兆円、新規雇用284万人』

（医療・介護・健康関連産業を成長牽引産業へ）

- ライフ・イノベーション(医療・介護分野革新)を力強く推進
- 高い成長と雇用創出が見込める医療・介護・健康関連産業を日本の成長牽引産業として明確に位置付け

（日本発の革新的な医薬品、医療・介護技術の研究開発推進）

- 安全性が高く優れた日本発の革新的な医薬品、医療・介護技術の研究開発を推進
- 産官学が一体となった取組や創薬ベンチャーの育成を推進
- 新薬、再生医療等の先端医療技術を促進
- ドラッグラグ、デバイスラグの解消
- 治験環境の整備、承認審査の迅速化

（アジア等海外市場への展開促進）

- 医薬品等の海外販売
- 成長するアジア市場との連携(共同の臨床研究・治験拠点の構築等)



＜平成24年6月6日＞

【ナショナルセンターの課題(概要)】

1. 産官学が密接に連携できるよう、実験機器・専門性の高い人材の整備・確保を行い、企業や海外の研究者を受け入れ、共同研究を推進し、企業と大学等研究機関との連携を進める。
2. 病態の解明や新たな診断・治療法開発のための個別化医療実現に向けた研究開発体制作りを行う。
3. バイオバンクについて、疾患別ネットワーク構築の可能性の検討を行う。
4. 病態の解明や新たな診断・治療法開発のための受診患者から収取するバイオリソースと診療情報が付随したデータベースを構築する。
5. 大学とナショナルセンター等の研究機関が連携したオールジャパンの研究等連携体制の構築を行う。



1. 国民の健康に重大な影響のある疾患の克服のためには、臨床現場の中で、横断的・専門的・重点的調査、研究を行い、先進的診断・治療技術を現場の中で開発すると同時に、関係する医療従事者の技能向上と全国展開、国民への啓蒙活動が重要であり、中核拠点である6つのNCの存在意義は夫々に極めて大きい。
2. 従って、健康大国戦略や医療イノベーション5か年戦略で掲げられた内容を実現にいくためにも、NCの機能をさらに強化・充実する方向で思考すべきである。



3. 医療機器は、とりわけ臨床現場に於いて、改善改良が繰り返される中で開発・実用化させるものであるので、夫々のNCに於ける臨床研究、治験環境・体制の充実強化を通じて、産官学の連携・医工連携拠点としての一層の機能強化が必要。
4. 医療機器開発の中核拠点として、企業との連携強化（受け入れ体制、相談体制の充実）を図る。
5. 医療機器の開発に従事する人材の育成機関としての機能の設置。